

## SNW - 3 ショートタイプへの変更方法について

SNW - 3は、出荷時アーム長さ400mmのロングタイプとなっておりますが、「延長アダプタ」を取り外すことでアーム長237mmのショートタイプへ変更できます。

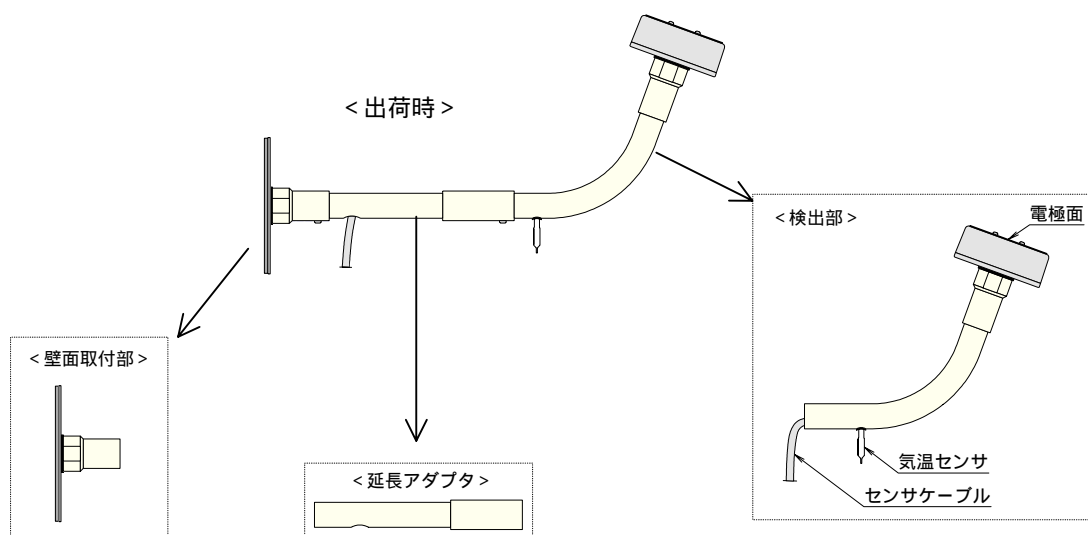
本書で、その手順について説明いたします。

### 1. 構成部材について

SNW - 3は、3つの部材から構成されており、各部材は抜けおよび回転防止のためのタッピングビス（M4×6）で固定されています。

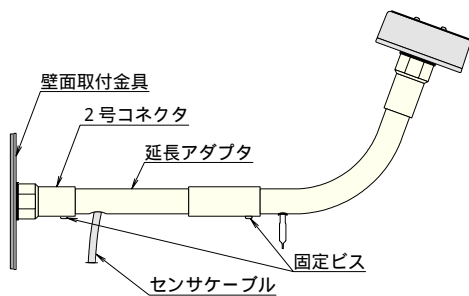
各部を構成する部品については、接着材で固定するなど分離できない構造になっています。

以下に、SNW - 3を分解したイメージを示します。

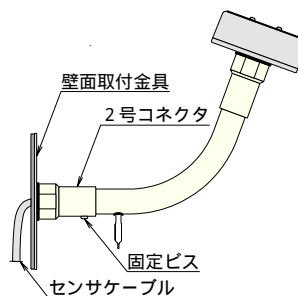


2. ロングタイプからショートタイプへの変更手順

(1) 最初に下図をご覧いただき、変更前と変更後のイメージを確認してください。

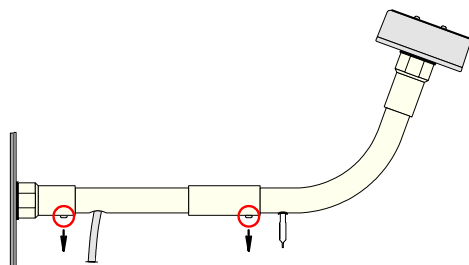


<変更前：ロング>

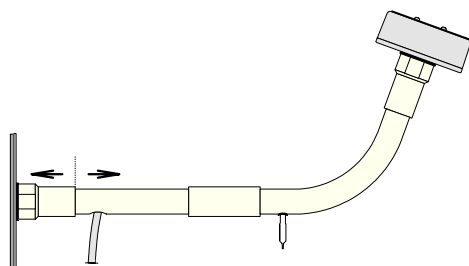


<変更後：ショート>

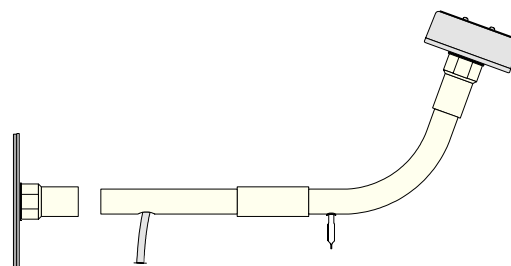
(2) まずは、固定用のタッピングビス2本をプラスドライバーで緩めて外します。取り外したタッピングビスは、あとで使用しますので無くさないようにしてください。



(3) 延長アダプタを押さえながら、壁面取付部の2号コネクタを引っ張り、壁面取付金具と2号コネクタを取り外します。壁面取付金具と2号コネクタは、接着して一体化していますので分離することはできません。

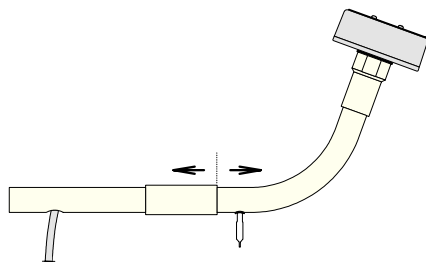


<分離前>

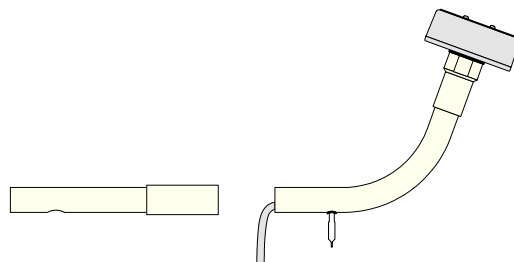


<分離後>

(4) 次に、延長アダプタを取り外します。検出部の曲がり部分を押しさえながら延長アダプタを引っ張り、取り外します。延長アダプタが分離できたら、センサケーブルに無理が掛からないよう注意しながら引き抜いてください。

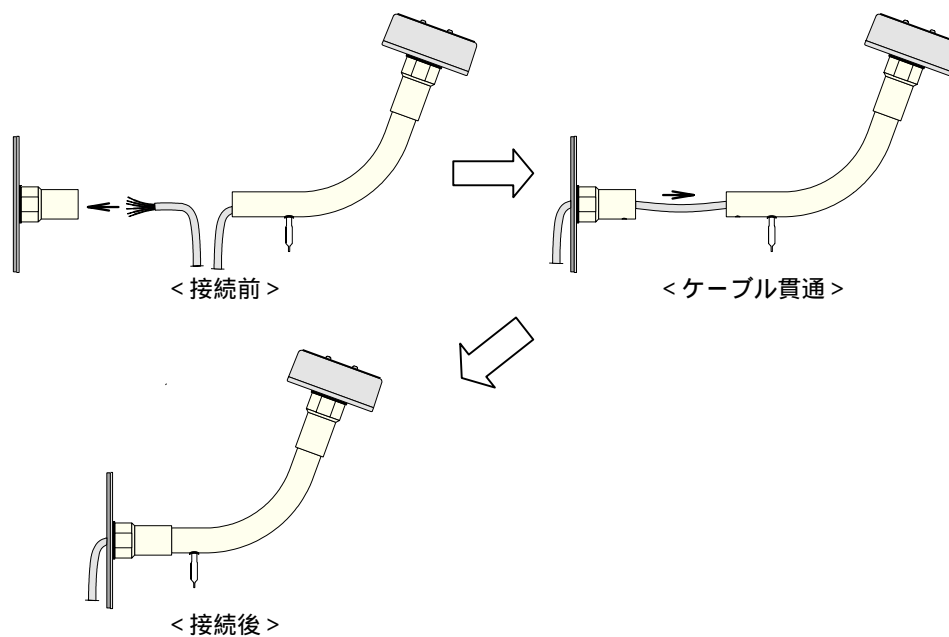


<分離前>



<分離後>

- (5) 次に、検出部と(3)で取り外した壁面取付部を接続します。  
センサーケーブルを貫通穴に全て通したあとに、検出部を2号コネクタに押し込みます。  
接続の際、検出部および2号コネクタそれぞれに開いた固定ビス用の穴位置が合うまで押し込みます。  
固定ビス用穴は、それぞれ端部から10mmの位置にあり、検出部を2号コネクタへ約20mm押し込むと穴位置が一致するようになっています。



- (6) 最後に、壁面取付部から検出部が抜けてしまったり、検出部が回転してしまうのを防ぐため、(2)で外したタッピング1本で固定ビス用穴を締め付けます。

